

第3回の勉強会では、用地事務及び河川事業について、座学と現場見学を行いました。

○ 用地事務について



【座学の内容】

講師を北上川下流河川事務所用地二課長にお願いし、用地事務について、職場での経験談を踏まえた講義をして頂きました。

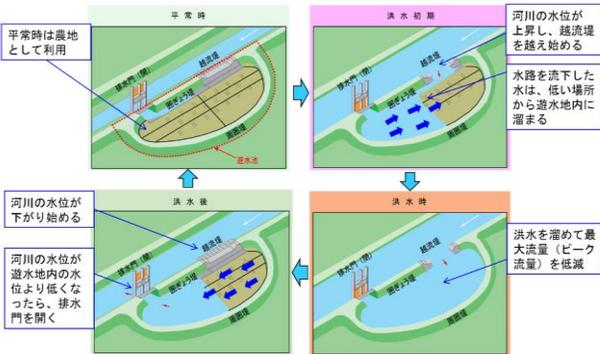
【感想】

- ・事業認定の仕組みについて、難しい内容でしたが、講義を通して理解することができました。
- ・根拠がなにか、調べながら業務に取り組むことで、自身の知識・スキルの向上に繋がることが分かりました。

○ 河川事業について

・善川遊水地整備事業(大衡村)を現場見学！

【遊水地による洪水調節のイメージ】



出典：国土交通省北上川下流河川事務所ホームページ (<https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>)

善川遊水地完成予想図 全景



北上川下流河川事務所HP掲載画像をもとに作成 (<https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/construction/construction.html>)

【遊水地って?】

遊水地は、洪水時に水を一時的にため込み、川の水位を調整する区域のことを言います。遊水地は、越流堤・圃田堤(いぎょうてい)・周囲堤・樋門によって構成されています。

【感想】

- ・善川遊水地には地役権※が設定されており、普段は遊水地内で耕作が可能になっていることが分かりました。
- ・図面を見るだけでなく実際に現場を見ることで、完成後のイメージがしやすくなりました。

※地役権(ちえきけん)：他人の土地を自分の土地のために利用する権利のこと

・粕川地区引堤工事(大郷町)を現場見学！



出典：国土交通省北上川下流河川事務所ホームページ (<https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>)



【引堤工事って?】

令和元年10月の台風第19号によって大きな被害を受けた、大郷町中粕川地区の復興計画と一体となって、既設堤防をより居住地側に動かして川幅を拡大させ、川の流下能力を大きくする「引堤」を行っています。

【感想】

- ・堤防を造るにあたって、いろいろな工夫をして氾濫に備えていることが分かりました。